

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 20 日 ( 19:50 ~ 20:30 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	初回のため記載なし
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	3	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	9	3	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	9	0	1	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	4	1	12

できている点	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用開始前に、情報を共有し、支援の方向性を話し合うようにしている。</li><li>・サービス開始後は、本人との会話の中で知り得たことをミーティング(朝礼や夕礼時)において職員間で情報共有し、対応の仕方や日中の過ごし方を話し合っている。</li><li>・初回の訪問や契約時に、本人や家族の思いをしっかりと聞くようにしている。</li><li>・安心していただける声掛けをするように心掛けている。</li><li>・送迎や訪問時は、家族の方への挨拶や会話に気を配り、家族の介護負担軽減を図るため、本人の様子や気になっていること、困っていること、不安に思っていること等をしっかりと聞くようにしている。</li></ul>
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"><li>・訪問や契約時に知り得た情報を、利用開始前にミーティングで共有しているが、職員全員参加では行なえず、細かい部分の情報共有が難しい。</li><li>・本人の気持ちや家族の思いは、基本情報や「かかわり始め」の段階ではわかりにくい部分もあり、利用開始後接する中で見つけている状態である。</li><li>・日々の業務に追われていて、職員間でじっくりと検討する余裕がなかったり、変則勤務の中で、めまぐるしく変化する内容や情報量についていけず、情報共有が難しいと感じている。</li><li>・声を発することの出来ない本人の不安を取り除くことがとても難しい。</li><li>・家族の思いがわからなかったり、関係作りの難しい家庭もある。</li></ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画

- 新規のご利用者の情報共有を職員間でより確実にするため、今までご利用者の担当を職員1名だったのを数名のチームに変更し、初期の関わりをチームで取り組むこととする。  
方法としては、①「介護連絡表(基本情報)」を担当チームで記入し、他職員へ伝える。  
②新規ご利用者について、朝礼や夕礼時、「介護連絡表」の項目に添って、サービスの形態や注意事項、本人や家族の思い等を話し合い、考え、理解していく作業を、利用開始前後より繰り返し行なう。  
上記の方法で、「かかわり始め」の段階で職員間の情報共有が今まで以上に出来るしくみを確立する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 27 日 ( 17:30 ~ 18:30 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	3	7	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	4	6	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	3	7	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	2	6	3	12

できている点

- ・本人との日々の関わりの中で、何がしたいのか、どんなものが好きなのか、楽しいことは何かなど、耳を傾けるようにしており、本人の目標や「～したい」を確認し、本人のしたいことが実行できている。
- ・良いことも悪いことも含め実践した (かかわった) 内容を日々のミーティング (朝礼や夕礼時) で伝え、次はどうしたらよいか、検討するようにしている。
- ・例えば具体的に、「なるべく長く自宅で暮らしたい」という一人暮らしの本人の思いを尊重し、その為に安全対策 (火の元、室内の段差、自動車運転免許など) や食事、掃除等々の支援方法について、日々振り返り、ミーティング (朝礼や夕礼時) で対応を考え実行している。

できていない点

- ・担当のご利用者の目標は把握出来ても、ご利用者全員の一人ひとりの目標は把握しきれていない。また、支援内容が多すぎて、日々めまぐるしく変化しており、把握が出来ていない。情報共有が難しい。
- ・時間の経過とともに目標が曖昧になってしまうことがある。
- ・本人の目標より家族の希望を優先してしまっている方もいる。(例えば、本人は家に居たいのに家族の希望で通いを利用されている等)
- ・中重度となつてから「かかわり始め」たため、本人の「～したい」がわからない。
- ・業務に追われ、本人とゆったりとかかわる時間がなかなか取れないと感ずることがある。

#### 次回までの具体的な改善計画

- 目標の書いてあるモニタリング用紙の書式を見直す。
  - ① 綴ると短期目標が見にくい位置になるので、目に付きやすい位置となるよう修正する。
  - ② 長期(ゴール)目標の記入欄を新たに設ける。
- 初期支援の改善計画で挙げた“チーム”で、支援内容の見直し・更新を行う。そうすることにより、今まで担当職員一人で行っていた支援内容の把握をチーム数名で取り組むことになるので、より関わる人数が増え、様々な角度の意見をもとに、本人の「～したい」が明らかになる。
- 朝礼のリーダーは、モニタリング用紙に記入している担当ご利用者の長期目標(ゴール)や当面の目標(～したい)を他職員へ伝えるようにする。これを継続することで担当ご利用者以外の目標を他の職員と共有できる。
- 日々のかかわり(会話)の中で見聞きし新たに知り得たことをしっかり記録に残すとともに、ミーティング(朝礼や夕礼時)や職員間の会話の中で伝える努力をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27年 10月 29日 ( 17:30 ~ 18:10 )

3. 日常生活の支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	6	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	2	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	3	8	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	9	2	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	7	5	0	12

できている点
<ul style="list-style-type: none"><li>本人の状況(腰痛、圧迫骨折、退院後の食事形態等々)に合わせた介助方法、食事形態、入浴、配席などを考えながら、その都度ミーティング(朝礼や夕礼時)で話し合い対応できている。</li><li>体調の変化については、通い時のバイタルチェックの他、訪問時は個々に応じて血圧測定や検温をし、異常があれば医師や家族へ連絡するようにしている。会話や対応する中で本人の気持ちや体調の変化に気付けば、他職員へ申し送り、記録に残して情報共有し、支援に活かすようにしている。</li></ul>

できていない点
<ul style="list-style-type: none"><li>ご利用者によっては、(例えば、一人暮らしで身寄りがなく、本人の記憶が曖昧などで)以前の暮らし方が把握出来ない方も多くおられる。また、基本情報に暮らし方の詳しい情報がなく把握しづらい。</li><li>10個以上把握となるとできていない。</li><li>本人の気持ちや訴えを十分に理解しきれていない。</li><li>情報共有しても、即時的な支援や対応となるとできていないこともある。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>「以前の暮らし方を10個以上把握」については、利用開始前の聞き取りで、「私の暮らしまとめシート」という書式の項目にそって、本人の以前の暮らし方や暮らしの中でのこだわり等をできる限り詳しく記入するようにし、他職員へ情報共有する。</li><li>“気付きのセンス”は、職員個々で違うため難しいところだが、日々の関わりや観察の中で普段と変わったことに気付いた職員は、すぐに他の職員へ伝え、記録に残す習慣をつけるよう声を掛け合うようにする。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 25 日 ( 20:15 ~ 20:50 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	5	2	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	3	3	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	6	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	3	7	12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い頃よりされていたお花の講師が続けられるようお花の注文や集金などの支援をしたり、地区のゴミ当番の仕事を一緒にしたりなど、以前の暮らしが継続できるよう、これまでの生活スタイルや人間関係を理解し、支援に活かしている。</li> <li>・住んでいる高齢者向け住宅が、以前の地域から離れていても今までの関係が切れないう出向いたり友人や家族に会う機会を多く作ったり、以前の自宅に帰るなどして、本人と家族・介護者や地域との関係が切れないようにしている。</li> <li>・情報収集により、生活スタイルや人間関係を図に現し、把握しやすいようにしている。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスを利用していない時間帯の把握が、特に独居の方はまだまだできていない。</li> <li>・関係が切れないうに支援していても、事業所のサービスが入ると疎遠になってしまうことがある。</li> <li>・民生委員や地域の資源が、本人の今の暮らしにどうかかわっているのかが把握できていない。</li> <li>・本人や家族がもともと地域とのかかわりが希薄で、外出されることも殆どなく近所に親しい方がいない人もあり、改めて地域と関わる(つながる)ことが難しいケースもある。</li> </ul>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の今必要としている支援が見えるしくみ作り ⇒初期の訪問や契約時に「私の暮らしまとめシート」を本人や家族と一緒に記入し、お元気だった頃の暮らし方を教えていただく。ただ、初期の聞き取りで家族へ踏み込んだことを聞くのは難しかったり、家族と温度差がある場合もあるので、利用開始後に家族とのやりとりのなかで関係を築いていながら項目を埋めるようにしていく。</li> <li>・本人を中心として、人間関係やどんな地域資源があるかが見える「関係図」を作成し、記入する。</li> </ul>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 9 日 ( 17 : 30 ~18 : 20 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	5	4	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	7	1	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	8	2	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	7	4	0	12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数名のご利用者に対しては地域の資源(公民館、サロン、行きつけの店など)を活用できている。</li> <li>・本人や家族のニーズに合わせて、「通い」や「訪問(夜間も含む)」「宿泊」ができている。特に「訪問」に関しては、本人の生活スタイルを第一に考え、対応できている。(服薬介助、配食、排泄介助、安否確認など)</li> <li>・本人の変化(気持ちや体調の変化など)に気づいた時はしっかり申し送りや、ミーティング(朝礼や夕礼時)で共有し、柔軟な対応ができている。また、記録にも残すよう気をつけている。</li> <li>・「通い」や「訪問」、「宿泊」の予定でなくても、本人や家族の急な申し出があれば、他のご利用者のサービスに支障がないと判断できれば、柔軟に要望に応えるようにしている。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で今まで通り暮らすには地域の資源の活用も必要と感じるが、本人の拒否があり使えなかったり、認知症への地域の理解が乏しく受け入れられないこともある。</li> <li>・地域の資源とはどんなものがあるのかわからない職員もいる。</li> <li>・長期宿泊により、地域と遠ざかっているご利用者もおられる。</li> <li>・ニーズに合わせて「通い」「訪問」「宿泊」ができているご利用者もいる一方、できていないご利用者もある。例えば、本人のニーズを理解できていなかったり、本人より家族の要望を優先している場合や、金銭的な問題もある。</li> <li>・ミーティングの時間を有効に活かせなかったり、職員の人手の関係で、ニーズへの対応にスピード感がなかったり、できてないこともある。</li> </ul>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人から話が聞けない場合は特に、「私の暮らしまとめシート」を活用したり、本人のしぐさや反応を見てニーズを汲み取る努力をする。</li> <li>・本人を中心とした「関係図」を活用して、使えそうな資源があれば支援につなげていく。</li> </ul>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 4 日 ( 18 : 00 ~ 20 : 00 )

6. 連携・協働

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	3	2	6	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	2	9	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	2	2	8	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	2	9	12

できている点

- ・医療機関や福祉用具などの他事業所との連携はとれている。
- ・医療機関や地域の方、ご家族に出席していただき、二ヶ月に一度運営推進会議を開催している。
- ・利用前や退院前、介護保険証更新時などにはサービス担当者会議を開催し、他サービス機関の参加をお願いし情報を共有するようにしている。(ケアマネージャー)
- ・地域包括支援センターの会議には時間があれば出席するようにしている。(ケアマネージャー)
- ・地区の行事 (納涼祭や防災訓練など) や、公民館での書道教室への参加などできている。

できていない点

- ・管理者やケアマネージャー以外が①や②の会議に参加することがあまりない。
- ・一部のイベントには参加できているが、それ以外にどんなイベントがあるか知らない。
- ・職員の人手の関係で参加できないこともある。
- ・登録者のご家族や友人、知り合いが事業所を訪れたり、季節の行事 (納涼祭や餅つき、防災訓練など) に地域の方が訪れたり、実習で生徒が訪れたりすることはあるが、それ以外は (特に小さな子どもが) 訪問することがあまりない。

次回までの具体的な改善計画

- ・どんなイベントがいつあるのか知らないなので、(レクリエーション担当の) 職員が公民館など地域に出向き、月行事のチラシをいただき情報を得るようにする。反対に、事業所のイベントがあれば、公民館などに宣伝したりチラシを配り周知していただく。
- ・事業所ができて年数は経つが、場所もわかり辛く認知度が低いと思われる。目印となる「看板」を作り、地域の方にわかりやすく訪れやすいよう工夫をする。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 4 日 ( 18:00 ~ 20:00 )

7. 運営

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	2	5	5	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	2	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	3	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	5	3	12

できている点

- ・職員として意見を言ったり、聞いたり、話し合ったり出来ている。
- ・ご利用者や家族、介護者からの意見や苦情があれば、事業所へ持ち帰り、皆でミーティングを行いスピーディーに対応するようにしている。
- ・運営推進会議で地域の方々から意見をもらい、協働できるよう取り組んでいる。

できていない点

- ・事業所のあり方について、あまり考えてなく、職員として意見や提案がない。より良くするための意見が言えていない。
- ・実際に運営に反映できているかはわからない。
- ・地域と協働した取組みを積極的には行っていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・地域に必要とされる拠点であるために、まずは事業所の存在を知ってもらう。  
⇒ 6の「連携・協働」の改善計画で挙げた、いくのさん家の「看板」を掲げる。  
⇒ 「かけこみ 110 番」のステッカーを貼り、誰でも入りやすい環境を作る。
- ・地域の行事(一斉清掃や新年会等)に参加し、情報収集をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 4 日 ( 18:00 ~ 20:00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 4 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	5	2	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	3	4	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	1	11	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	4	4	4	12

できている点	<ul style="list-style-type: none"><li>・職場内研修を必ず月一回は行っている。</li><li>・段階別 (新人・中堅・管理者) 研修を随時行い、個々のスキルアップを図っている。また、スキルアップのための研修は、個人的に参加している職員もいる。</li><li>・ヒヤリハット事例があれば記録したり、他職員へ伝えるようにし、事故防止に努めている。また、事故があった場合は事故報告書に記入し、ミーティングを行い、再発防止に取り組んでいる。</li><li>・リスクマネジメントの勉強会に参加し、月一回の職場内研修で報告し、情報共有するようにしている。</li></ul>
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"><li>・職場外の研修に参加できていない職員がある。</li><li>・資格取得やスキルアップのための研修や、地域連絡会に参加していない。地域連絡会とは何のことを指すのかわからない職員もある。</li><li>・リスクマネジメントに対する認識に個人差がある。また、事故対策の共有ができていないことがある。</li><li>・勉強会へは限られた職員しか参加できていない。</li></ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・様々な研修会やスキルアップのための勉強会など、管理者やケアマネージャーが知り得た情報は、必ず他職員へ伝達するようにしていく。⇒ 興味がある職員は参加できるように勤務を組み、参加する。参加した職員は、ミーティング等で他職員にも報告する。</li><li>・リスクマネジメントの研修会は、今まで出席したことのない職員が参加するようにする。</li><li>・リスクマネジメント係を作り (職員 2 名)、危険箇所等の点検や業務の気づきがあれば改善を図るしくみ作りに取り組む。</li></ul>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 25 日 ( 20:15 ~ 20:50 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	4	0	0	12
②	虐待は行われていない	9	2	1	0	12
③	プライバシーが守られている	3	5	4	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	4	0	2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	4	0	0	12

できている点	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体拘束、虐待はしていない。精神的にも行わない心掛けをしている。</li><li>・月一回の職場内研修の年間計画にも「身体拘束・虐待防止について」、「プライバシー保護」「成年後見制度」などの内容を挙げ、勉強会を行っている。</li><li>・必要な方には成年後見制度を活用している。</li><li>・個人情報は鍵をかけて保管している。また、個人情報、プライバシー保護の説明は、職員へは入社時に、ご利用者、ご家族へは契約時に行っている。</li></ul>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全配慮のため、プライバシーの確保がしきれないという面がある。</li><li>・狭い居間に多くのご利用者がいる。</li><li>・適切な声かけができてないときがある。</li><li>・トイレに内側からの鍵がなく、使用中に開けてしまうことがある。</li></ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・プライバシー保護の面について ⇒ 「トイレ使用中/空いています」の札を作り、活用する。</li><li>・適切な声かけについて ⇒ 定期的に見直す機会を作る。例えば、新人職員が入社した時や気になる声かけがあった時など、その都度ミーティングや月一回の職場内会議で議題に挙げる。</li><li>・職場内の年間研修計画に、人権・プライバシー・成年後見制度等の内容を挙げ、職員の勉強会をする。</li></ul>
---------------	--

